

河内地区 白沢甲部自治会

「肌で感じる自治会活動に」

●加入世帯数：160世帯

●加入率：99.4%

活動内容

当自治会は鬼怒川によって形成された河岸段丘の上にある白沢小学校周辺地域及び、通称白沢バイパス沿いの新興住宅地域、そして河岸段丘の下にある旧奥州街道白沢宿地域からなっています。

<防犯灯の新規設置,旧防犯灯のLED化推進等で>

安心・安全の地域づくり,防犯効果,災害時の避難路の確保等は,必要不可欠なものであり,当自治会の防犯灯は68灯になっていますが,ランプ寿命延長,省エネ,ランプ交換管理の軽減化を課題に挙げ,且つ今後の計画を合理的に検討し防犯灯管理表を作成して管理しています。これにより防犯灯の場所,修理依頼内容,LED化進捗等,防犯灯の管理状況がひと目でわかることができる様になりました。

<ゴミステーションの設置状況の「見える化」と,資源物回収・全市一斉清掃活動で美化を推進>

ゴミステーションの設置は日常生活に欠かせないものであり,其々の場所でゴミ保管箱も一様ではありません。其々18箇所のゴミステーションで,環境美化の努力を「見える化」するため,管理表を作成すると共に,適宜ゴミ出しルールの啓発文書の掲示

等を行っています。

また,毎月行われる資源物の回収では自治会長からの協力依頼の回覧文書を配布したり,全市一斉清掃活動ではリサイクル委員の指揮のもと,全戸で参加して地域内公道の美化推進に取り組んでいます。



<自治会内コミュニケーションの活発化>

今年度創設された「居場所づくり」の補助金制度を活用し,古い公民館ではありますが,エアコンを設置し,高齢化のニコニコクラブ活動,育成会の夏休み行事等で快適に過ごせる様になり,今まで以上に公民館での集会の

機会が増えると期待しています。

また、近年の異常気象現象や地震等の災害に対応すべく防災伝達網、自治会員の住居位置を示す地図の作成、災害時要援護者のリストアップ、避難場所の整備への自治会としての取り組み、「子ども 110 番の家」の表示板の見直し、「子どもさんへの一声挨拶」のお願い、そして、伝統ある彫刻屋台（江戸時代後期作）祭りの継承等、コミュニケーションを量的・質的に向上させるべく、これからも取り組んでいこうと思っています。



加入率を維持する秘訣

他の自治会同様高齢化が進みつつあり、回覧板を回す程度ならできるが、体育祭の準備や全市一斉清掃活動等、面倒なことはできないから組長は受けられない。受けられないと我儘を言う訳にはいかないから自治会を脱退する…との声をきくようになってきました。

組長は組内で、役員は組間での回り

番なのですが、そんな事情がある組の場合は、回覧板を回すだけで済むよう、自治会活動の参加に当たっては其々の事情に応じて協力できる範囲で行うことを原則にしています。

具体的には、年度末に次年度の組長さん（組内の回り番が原則）を各組から報告して貰い、体育委員、リサイクル委員等の役員を組長さんの中から回り番で決めるのですが、まず会長、副会長、会計で確認し、問題が予測される場合は調整した上で、次年度の委員を組長会議で確定し、委員間の引継ぎ（任期は1年）を行うことにしています。

また、新興住宅地が増えてきて、新規居住者とのコミュニケーションが取れる機会を活かして、自治会の活動を肌で感じて貰うべく工夫しています。具体的には小学校の児童の家族で構成される育成活動との連携、体育祭、秋祭りでの児童・幼児等家族も一緒に楽しめる様な工夫、ゴミステーション設置についてのアドバイス、防犯灯設置の相談等が挙げられます。育成会の活動を通じて、じゃあ来年から入ろうかな・・・と言ってくれることもあります。